

6．塩素含有量が1000ppm以下であることを特徴とする5記載のポリアリーレンスルフィド、

7．重量平均分子量/数平均分子量で表される分散度(Mw/Mn)が2.5以下であることを特徴とする3～6のいずれかに記載のポリアリーレンスルフィド、

8．クロロホルム抽出成分が1重量%以上であることを特徴とする3～7いずれかに記載のポリアリーレンスルフィド、

である。

【発明の効果】

【0016】

本発明によれば、ポリアリーレンスルフィドの耐熱性を損なうことなく、ポリマー鎖末端に反応性官能基が多く導入されたポリアリーレンスルフィドを効率よく得ることができる。

10

【発明を実施するための形態】

【0017】

本発明におけるPASとは、式、 $-(Ar-S)-$ の繰り返し単位を主要構成単位とする、好ましくは当該繰り返し単位を80モル%以上含有するホモポリマーまたはコポリマーである。Arとしては下記の式(C)～式(M)などであらわされる単位などがあるが、なかでも式(C)が特に好ましい。

【0018】